

令和4年の新春を謹んでお慶び申し上げます。

皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと存じます。さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの影響により、皆さまに多くの我慢と負担を強いた年でした。また11月2日の集中豪雨・雹・雷では大変不安に過ごされたことと存じます。被害に合われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

国や北海道に最大限の支援を要請し早急に復旧が進められており、皆さまの命をお守りする為に更なる防災対策の強化に努めて参ります。

令和4年は町制施行80周年の記念すべき年であります。先人から受け継いだ伝統・文化をしっかりと継承し未来へ繋げてまいります。

80周年を迎えるにあたり「町民の皆さまのオリジナルエピソード」を募集しておりますのでご応募お待ちしております。また行政からの情報発信とともに町民の皆さまからの意見や考えを聴く、「お出かけ町長室」や「GOT町長室」の取組を進め、信念である「政治は現場にあり」を徹底し、声を「カタチ」にしてまいります。

本年も未来の子ども達に負担の先送りが無い様、「持続可能な町づくり」を進め、堅実な財政運営に取り組んでまいります。令和3年の「ふるさと納税」寄付額は、就任前と比較しますと10倍にあたる約4千万円となりました。挑戦の先にしか安心や安全はありません。新設した特産品認定制度を活かし商業や一次産業などの支援や育成に力を入れます。子どもからお年寄りまで安心して暮らせるように、子育て・医療・介護・福祉などにも、ふるさと納税を活用し一体となって取り組めます。

企業誘致・進出や新たな産業創出ですが、①旧恵心園を活用したLED水耕栽培のサニーレタス生産②サクラマス養殖実験事業③トラウトサーモン養殖事業④アウトドアメーカーとのアウトドア・アクティビティ包括連携。など様々な未来を創る新しい事業への挑戦が官民連携の上スタートしています。

また、3月には高規格幹線道路函館・江差自動車道（仮称）木古内ICが開通し、交通拠点としての町の使命が高まります。北海道新幹線・道南いさりび鉄道などの利用促進と公共交通機関及び二次交通網の維持・確保に努めてまいります。

本年4月は「きこない認定こども園」が開園します。のびのびと健やかに生み育てる環境が更に整います。令和4年度からは等しく全ての子ども達に支援の輪をひろげてまいります。

教育では、小中学生のタブレット整備や教室のエアコン設置など教育環境の整備が進みました。木古内の子ども達がワクワクして学べる環境づくりに、全力で取り組んでまいります。

福祉につきましては、昨年増額した福祉灯油や高齢者福祉サービス券の継続に取り組んで参ります。また、本年スタートする木古内町社会福祉協議会による有償ボランティア「わんつか」を支援し、お一人お一人の生活をしっかりと守ってまいります。

結びに、町民の皆さま、町議会議員の皆さま、町職員、全ての力を集結し「今と未来の為に持続可能なまちづくり」に挑戦してまいります。皆さまの健康と命・生活・経済を守る為に全力で取り組むこととお約束すると共に、町民皆さまのご健勝ご多幸を祈念して年頭のご挨拶と致します。

町政施行80周年の記念すべき年が皆様にとって素敵な年になりますように。

令和4年 1月1日

木古内町長 鈴木 慎也